

議会広報

かみいち

2023

34号

令和5年1月16日



12月定例会の要点P2
採決一覧P3
委員会報告P4
一般質問P5~11
特集記事P12~13
視察研修報告P14
追跡レポートP15
町民の声P16

(写真) 世代間交流事業
『餅つき会』 こどもの城
11月19日(土)

発行/上市町議会
編集/議会広報特別委員会



令和4年(2022年)12月定例会の要点

12月補正予算は、一般会計で1億4291万4000円、特別会計で1604万6000円、企業会計で4059万6000円を増額し、補正後は、一般会計109億3642万6000円。特別会計は33億737万1000円。企業会計は60億3994万7000円となりました。

12月補正予算による主な事業

未就学子育て世帯支援交付金事業 700万円

食費等の物価高騰に直面する子育て世帯に対し、未就学児1人につき支援金を4万円に増額して支給



社会資本整備総合交付金事業

道路補修費 2590万円

道路補修工事費

交通安全施設整備事業費 3020万円

道路の防護柵設置工事

除排雪対策費 5550万円

消雪パイプの更新工事

出産・子育て応援金 1050万円

妊娠届け時に5万円、出産後に5万円の合計10万円を支給



水田農業経営緊急支援事業 97万円

資材費高騰により、大麦、大豆、ハトムギ、そばの作付面積に応じて800円/10aを交付



感染症防止対策事業費 353万円

児童館と放課後児童クラブの新型コロナウイルス感染症防止対策費

【一般会計】

保健福祉総合センター運営費 指定管理料(燃料費・電気料の増) 1000万円

【水道事業会計】

水道建設改良費 住宅団地造成に伴う配水管布設工事費補助金 1499万円

【病院事業会計】

収益的支出 光熱水費の増額 2000万円

議案採決一覧

○賛成 ×反対 □欠席

議案	議員											採決結果	
	議長 堀田喜久男	百塚 怜	廣田 透	椎名 寛子	宮波 紀子	酒井 一好	廣田 泰三	松本 寛	寺西 庄司	松谷 英真	碓井 憲夫		酒井 桂之
10月臨時会 第71号	令和4年度上市町一般会計補正予算（第4号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12月例会	第72号	令和4年度上市町一般会計補正予算（第5号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第73号	令和4年度上市町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第74号	令和4年度上市町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第75号	令和4年度上市町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第76号	令和4年度上市町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第77号	令和4年度上市町水道事業会計補正予算（第1号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第78号	令和4年度上市町病院事業会計補正予算（第2号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第79号	上市町職員の定年等に関する条例一部改正の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第80号	上市町職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例制定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第81号	上市町職員の降給に関する条例制定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	第82号	上市町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	第83号	上市町職員の大学院等派遣研修費用の償還に関する条例制定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第84号	指定管理者の指定に関する件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第85号	令和4年度上市町一般会計補正予算（第6号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第86号	上市町固定資産評価審査委員会委員選任に関し同意を得るの件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	

会議出欠表

○出席 □欠席 △遅刻・早退

日付	会議の内容等	堀田喜久男	百塚怜	廣田透	椎名寛子	宮波紀子	酒井一好	廣田泰三	松本寛	寺西庄司	松谷英真	碓井憲夫	酒井桂之
10月31日	全員協議会、本会議（10月臨時会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月 6日	本会議、全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12日	本会議（一般質問）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13日	総務教育常任委員会	-	-	-	-	○	○	○	-	○	○	-	○
14日	産業厚生常任委員会	○	○	○	○	-	-	-	○	-	-	○	-
16日	全員協議会、本会議(委員長報告・討論・採決)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

委員会報告

総務教育 常任委員会

総務課

令和5年4月1日に定年延長が施行されるが、定年年齢を2年に1歳ずつ段階的に引き上げるのは、全国的に実施する制度か。

地方公務員法の改正に基づいているものなので、全国一律である。

町職員の大学院等派遣研修費用の償還に関する条例制定について認定看護師が対象と聞いたが、制定の趣旨は。

高額な研修費用を町が負担しているので、最低限5年は貢献していただきたいという趣旨である。

新町制70周年に向けて改めて町花を選定するが、季節や開花時期等

で、町花を2種類、3種類にしても良いのでは。

その件も含め、検討している。

企画課

上市スマートインターチェンジで乗車できる高速バス東京便の見通しは。

富山地方鉄道に要望しているが、高速バスの利用者が戻ってきていない状況であるため、見通しがたない。

教育委員会

部活動で地域移行する7つのクラブは。

現在、カヌーと硬式テニスが地域クラブに移行しており、今後、バスケットボール、バドミントン、柔道、剣道、空手道が移行予定。

地域クラブ推進協議会を教育委員会に設置するのか。

教育委員会内に地域クラブ推進協議会の事務局を置き、会計関係や大会登録の手続き等を支援する人員を配置する予定。



第1回上市町地域クラブ推進委員会

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。

所管事務事項の継続審査の件は了承。

産業厚生 常任委員会

産業課

空き店舗活用事業補助金とは。

上市町商工会が認定した事業計画に基づき、中心市街地の空き店舗を活用し、小売業、飲食業、サービス等の事業を始める方に対し補助する。

【参考：補助金交付実績】

起業年度	交付件数(件)
H25	1
H27	1
H28	3
H29	1
H30	1
R3	1
R4	1
合計	9

サーモグラフィーカメラ5台は、何処に配備か。

カミール1階3つの出入り口に各1台、2階わんぱく広場に1台、3階立体駐車場出入り口に1台配備。

大豆、ハトムギ栽培に関する現状は。

栽培状況は、下記の表のとおり。交付金として国から10アールあたり3万5000円の補助金が出ている。また、町より大豆、大麦の出荷に対し、出荷奨励金を出している。

ハトムギ栽培は、需要と供給のバランスが崩れ、作っても売れない状況である。



大 麦

【栽培状況】

品目	耕作者数	作付面積
大豆	6経営体	10.4ha
大麦	19経営体	79.0ha
ハトムギ	2経営体	15.1ha

【出荷奨励金】

品目	出荷奨励金
大豆	40円/kg
大麦	30円/kg

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査の件は了承。



病後児保育チームの構築 産後ケアの充実

百塚 怜 議員

立地を活かした病後児保育チームの構築

議員 町内全域へ移動が可能な病後児保育チームを結成し、各保育所の空き保育室あるいは隣接する公民館の一室を病後児専用保育室として活用することは、法的に可能か。

福祉課長 病後児保育を実施している保育所では保育所と完全に分離した別建ての施設で受け入れを行っている。感染防止対策のため病後児保育を行う施設ごとに整備が必要になると思われる。公民館は普段から高齢者の利用が多く、万が一児童の疾病に感染した場合には重篤化するおそれもあり、徹底した感染対策を施さない限り、活用は困難と思われる。

る。また公民館を活用した場合、近くの保育施設等に給食の提供を依頼できても、事前に食数を把握できないのが課題である。議員の提案はアイデアとして興味深い。新たな人員確保が必要となるほか、病後児保育のニーズがない時の業務も課題となる。何より病後児を受け入れる施設での感染対策が不可欠なため、やはり専用の拠点を設けて、その施設に町内どこからでも病後児を預けられるようにすることが望ましく、効率的と考える。なお病後児保育に係る国の補助金は、保育士と看護師の配置を条件としているものの、常駐を必須とはしていないため、基準額がかなり低く抑えられており、一定数以上の利用がなければ加算分も少額で、看護師一人分の人件費すら賄えない内容となっている。病児・病後児保育はクリニックと併設で一体となつて行う前提で考えられている仕組みと思われる。補助制度の改善を国や県に対し要望している。当町における適切な病後児保育体制のあり方について腰を据えて研究していきたい。

産後ケアの充実

議員 現在、福祉課で産後ケアを実施しているが、分娩業務を停止したかみいち総合病院でも独自の産後ケアを検討中だと聞いている。マンパワー集中のため助産師を福祉課に派遣してはどうか。また、民間事業者と連携したサービスはどうか。

病院事務局長 町では平成30年から、産後5月未満の母子に産後ケアを行ってきた。分娩業務休止に伴い、産後1年未満の母子を対象とした新たな産後ケア事業について、病院と福祉課で協議している。提案にある福祉課への助産師の派遣については前向きに検討していきたい。民間宿泊事業を活用した産後ケアについては、宿泊事業者との調整や法規制の有無等も確認する必要がある。医療、福祉、観光面の連携は町の活性化も期待できるので、今後、福祉課や産業課と一緒に実現の可能性を探っていきたい。

自治会管理公園



議員 自治会管理公園の舗装等の整備に関する補助金を創れないか。

町長 自治会管理の公園は、全町民や他市町村の方々も利用するよさの丸山総合公園やさひの郷公園などは違ふ。基本、住宅団地内の住民が利用する公園であり数も多くあるため、新たに補助制度を設けることは難しい。樹木の伐採や擁壁の崩落などの大がかりな工事や、老朽化した既存遊具の撤去などについては、これまで通り地元町内会と相談のうえ必要な措置を町の方で講じていく。

一般質問

小学校・中学校の給食費無償化 中学校の部活動の地域移行



廣田 泰三 議員

小学校・中学校の学校給食費の無償化

議員 町ではこれまで学校給食費について補助してきた。さらに子育て世帯の支援策として、令和4年9月から令和5年3月まで無償化を実施している。この給食費の無償化を来年度以降においても継続できないか。

教育長 学校給食の経費は、学校給食法で、学校の設置者と児童生徒の保護者がそれぞれ分担するように定められており、食材等の部分は、本来、保護者負担とされている。そうした中、平成23年度より子育て支援の一環として学校給食費を一部補助してきたが、新型コロナウイルス感染症まん延の長期化、ロシアによるウクライナ侵攻や急激に進む円安による物価高、燃料費高騰などが子育て世帯の家計に及

ぼす影響を鑑み、新型コロナウイルス対応地方創生交付金を活用し、児童生徒の学校給食費を令和3年度には3学期分、令和4年度には2、3学期分を無償化したところである。

来年度、さらに物価や燃料費の高騰が予測され、給食材料費もこの影響を受ける。

少しでも保護者の経済的負担を軽減したいが、学校給食費の完全無償化には、数千万円単位の新たな財源が必要であり、新年度予算編成において町長、財政部局と協議していきたい。



小学校給食の様子

中学校の部活動の地域移行に伴うスポーツカウンセラーの導入

議員 中学校の部活動に関して、教職員の働き方改革や技術指導面の点で、地域移行が進められているが、移行された場合でも部活動という形態は変わらないのか。

心身ともに成長期である子供たちが安全安心な環境の中で、運動や文化活動を楽しめるよう、指導者は幅広い知識が要求される。指導者の人材確保や育成等課題は多いと思われる。指導者を補助し子供たちを多角的、総合的にカバーできるスポーツカウンセラー等の専門家を導入する必要があるのではないか。

教育長 国は令和5年

からの3年間を部活動地域移行の改革集中期間とし、先ずは休日の地域移行を進めるとしている。当町での中学校教職員の時間外勤務の状況は他業務と比較しても部活動指導に掛ける時間が大きな比重を占めている。

昨年1月にスポーツや文化活動の関係団体で構成する「上市町部活動のあり方検討会」を設置し、可能な競技について指導・大会引率すべてをクラブが行う完全移行という方向で協議を進めてきた。

今年度は2クラブ、来年度には5クラブが地域移行し7つの地域クラブとなる見込み。

地域クラブの指導者へのサポートについては教育委員会内に「地域クラブ推進協議会」を設置し、会計処理

や各種登録業務等クラブ運営の支援を行う。

県教育委員会が主催する研修会参加やパワーハラスメント防止等の研修会を企画し指導者の支援に努める。

スポーツカウンセラー等の専門家の導入をとの提案だが、中学校や地域クラブとの連絡調整や地域クラブの事務手続きをサポートする人員の配置が何より必要と考えており検討を進めている。



バドミントン部の練習風景



自然エネルギーの活用促進を 第3子の奨学金制度を

碓井 憲夫 議員

再生可能エネルギー活用促進を

議員 温暖化の要因でもあり、輸入に頼る石油、石炭等の依存を減らし、太陽光、水力、バイオマス等自然エネルギー発電の促進を進めねばならない。小さな川でも発電できる水力発電が進んでいる。かつては大岩にも水力発電所があった。

町民課長 来年度に、再生可能エネルギーを最大限導入するための計画策定や再生可能エネルギー導入に係る可能性調査等を行い、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにするために太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの導入を促進していきたい。

自然エネルギー 比率 (2019年)

デンマーク	78%
カナダ	68%
日本	22%

自然エネルギー財団資料より抜粋

子育ての応援を

議員 平成23年、当時の伊東町政は保育所民営化により浮いた財源を子供に使おうと、県下に先駆け、子どもの給食費の軽減に取り組み、その後も助成を拡大してきた。

中川町政も国の交付金を利用し、学校給食費の支援や県外在住の学生に支援金を交付するなど、子育てを応援している。3人を育てあげるには経済力が必要である。

3人目の子どもの国保税を、町の負担にできないか。

町長 国保税は所得金額が一定以下の場合に、均等割と平等割について最大7割を軽減する制度がある。今年度より末就学児の第1子からの均等割を5割減額する制度がスタートし、現在、44人が軽減を受けている。

議員提案の国保世帯の3人目の子の国保税の均等割を町負担とするのは、税の公平性の観点から、好ましくないと考えている。

少子化に歯止めがかからない今日において、1人でも多くの子さんを生み育てていただきたいの思いから、1人目の子から負担軽減を図れるような施策を増やしており、今年度は、おむつ購入

上市町の学校給食費助成

平成23年度	月額1000円助成 (町内小中学校に3人同時通学の場合、3人目は全額助成)
平成30年度	助成額を月額1200円に拡大
令和3年度	第3子以降全額助成
※白萩西部小学校では平成27年度から、陽南小学校では平成29年度から、町で定めた給食費月額1/2を助成している。	

券の助成金額の拡充やベビーシッターの利用助成などを始めた。

今後、子育て環境検討プロジェクト会議でのご意見を参考にしながら、子育て支援策の更なる充実を図っていく。

議員 3人目の子どもへの支給型奨学金を。

教育長 町の給付型奨学金では高校で月5000円、短大・県

内大学等で月8000円、県外大学で月1万円としている。

教育基本法で、経済的理由により修学が困難な者に対して、教育の機会均等を行わなければならないと定められていることから、奨学金の支給を無条件で第3子へ支給することはできないと理解している。

一般質問

令和5年度の予算編成は
上市駅の賑わいは

酒井桂之 議員

予算編成の方向性は

議員 令和5年度の予算編成は。

町長 新型コロナウイルス感染症対策や少子化対策、超高齢社会への対応に加えて、公共施設の老朽化や光熱費などの高騰による維持管理費の増加などが見込まれ、厳しい予算編成となるが、財源確保と歳出削減に真摯に取り組む、限られた財源を重点的かつ効率的に配分していきたい。

議員 主なプロジェクト事業は。

町長 主なプロジェクト事業として、人口減少への対応があり、子育て支援の充実や移住定住の促進を核に取り組んでいく。また企業誘致を推進するために大坪地域工業団地の詳細設計に取り組み、大

坪南線の改良工事を進める。2年目となる保健福祉総合センターの改修など、公共施設の長寿命化も計画的に実施していく。さらに地球温暖化への新たな取り組みとして、全庁的なSDGsの推進体制を構築するとともに、

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、当町における再生可能エネルギーを導入するための計画策定にも取り組んでいきたい。

上市駅の賑わいは

議員 上市駅が「交流・賑わい・往來の拠点」の『場』となるために、

継続して取り組んできたことは何か。今後の予定は。

企画課長 町では、まず観光案内所を駅構内に設置することで、上

市駅を町外との交流の拠点として位置付けてきたところである。毎年「上市えきなか古本市」を開催し、町営バ

スの無料、鉄道を利用して来場された方へ古本市で使用できる割引券を配布するなど、上市駅の賑わいの創出にも積極的に取り組んできている。さらに、令和3年には「富山地方鉄道上市駅開設90周年記念事業」を行い、町が一体となつてイベントを盛り上げた。今後

も公共交通機関を維持するための支援を継続し、更なる利用促進を図つて町外との往來の拠点である上市駅を守つていく。来年度には上市町地域公共交通計画策定に係る町民アンケートを予定しており、上市駅を拠点とした公共交通に関する要

望等もお聴きしたいと考えている。

議員 上市駅の空き店舗に飲食店を誘致できないか。

産業課長 町では、中心市街地の空き店舗を活用する事業者に対する上限額150万円までの補助制度を設けており、さらに、家賃の一部を2年間助成する仕組みを設けている。上市駅内へのテナント誘致にもこの補助金は活用可能であるが、テナント所有者であるJ Aアルプスによれば、建物の老朽化が著しいため、改修費が入居者側の負担となるため、飲食店等の開設には多額の費用が発生することが想定されるが、入居に前向きな方は、補助金を最大限活用していただきたいと考えている。

議員 上市駅の賑わいを駅の所有者であるJ Aアルプスと鉄道を運行する富山地方鉄道に呼びかけることはできないか。

町長 J Aアルプスや富山地方鉄道(株)が上市駅舎の建替え等の検討に入るまでは、当分の間、駅構内でのイベント開催を中心に、上市駅の賑わい創出に努めていきたい。



▶町商工会青年部が実施した「寄せ書き電車」



耕作放棄地問題

松本 寛 議員

荒地の対処法は

議員 耕作放棄地と思われる場所が雑草で荒れ放題であり、害虫の発生や美観の悪さで困っている地域住民から相談があった。町が所有者に対処を促すか、あるいは直接草刈りをするなどの支援はあるか。

産業課長 害虫の発生等により近隣の農地や家屋に被害を及ぼすなどの苦情を聞いた場合、農業委員会事務局では、所有者を特定し、個別に是正していただくよう通知している。今年度はこれまでに、地権者15人に対して通知したところ、約1ヘクタールについて問題の解消が図られた。耕作放棄地の草刈りについては、町が代わって実施することはな

いが、多面的機能支払制度を活用すれば共同活動による草刈りを支援できるように努めている。

耕作放棄地の情報把握は

議員 上市町全体の農業従事者の平均年齢はどれくらいか。耕作放棄地の所在地や所有者、面積、状態などを把握しているか、あるいはそのような情報を蓄積している関係機関との連携は取れているのか。

産業課長 町の農業従事者の平均年齢は正確には掴んでないが、2020年農林業センサスによると、一番多い年代は70代前半である。農業従事者の高齢化や後継者不足が進む一方で近年、当町では新規就農者が増加傾向

にある。耕作放棄地の所在地や所有者、面積、状態など概ね把握している。これらの情報を県やJA等と連携し、担い手農家への集積や新規就農希望者への農地斡旋等に活用し、少しでも耕作放棄地の発生防止や減少に繋げられるよう努めていく。

上市町内の遊休農地面積の推移

年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
遊休農地面積 (ha)	2.1	2.1	3.7	1.8	2.4
町内農地面積に占める割合 (%)	0.13	0.13	0.23	0.11	0.15

農業委員会の取り組み

産業課長 耕作放棄地の所有者に対し利用意向調査を実施している。この調査で、貸付を希望すると回答された農地については、近隣農地の耕作者に働き

かけ、農地の貸し借りを推進することで、耕作放棄地の解消に取り組んでいる。
議員 農地に関して、現状や所有者の家族構成なども含めた状況をデータ化していけば、次への取り組みとなる。



遊休農地

一般質問

新町制70周年 ふるさと劔親自然公園の利活用



廣田 透 議員

新町制70周年

議員 例年行っている夏祭りや花火の夕べの規模を拡大して行い70周年を祝うことはできないか。

町長 ふるさと観光上市まつりは、毎年8月13日に西中町商店街通りをメインステージとして、町民参加による町流しの夕べ、白竜橋付近での招来橋、花火の夕べなどが一体となって開催されている。今年度は、花火の夕べのみの開催となったが、本イベントは上市の夏の風物詩となっていることから、例年、町民やお盆にふるさとへ帰省されている方など多くの方に楽しんでいただいている。

新町制70周年を迎える来年度における本イベントを役場駐車場で

開催してはどうかとの提案だが、密にならない感染症対策や花火の実施場所との関連に加え、今の会場は恒例となつて久しいことや、まちなかの賑わい創出の効果なども含めて、開催主体であるふるさと観光上市まつり実行委員会においてしっかりと検討いただきたい。



かみいち音頭の町流し

ふるさと観光上市まつりは、当町にとつて大事なイベントであり、新町制70周年を記念して大いに盛り上げていただけるよう期待しているとともに、実施にあたってはできる限りの協力をしたいと考えている。

ふるさと劔親自然公園

議員 公園の周辺一帯をアウトドアの拠点として活用し、町内外にアピール出来ないか。

産業課長 ふるさと劔親自然公園では、交流促進施設としてバーベキュー場やパークゴルフ場、オートキャンプ場等を設置している。当該施設の利用期間は4月1日から11月30日までとしており、今年度の利用人数は、バーベキュー場で272

人、パークゴルフ場で455人、オートキャンプ場で2230人と、町内外から家族連れや若者たちなどに幅広く利用されている。

当該施設の利用者数は、コロナ禍前の令和元年度と比べると、アウトドアがブームとなつてきたこともあり、オートキャンプ場やバーベキュー場では、土日や祝日は常に予約が入り、利用人数は約1.5倍の増加となっている。

提案の早乙女湖でのサップ利用については、富山県上市力ヌー競技場が行うカヌー競技普及振興事業として予め位置付けたうえで、気象条件が整った中、利用者のライフジャケット着用や救助艇などの危険防止策が施

された場合のみ可能となる。残念ながら、当公園利用者がいつでもサップをできるというわけではない。

提案のように早乙女湖を当公園と一体的に活用できれば、アウトドアの拠点として大きな強みを持つことになると思われるので、今後、サップやカヌーを体験する機会を少しでも増やしていけないか、事業を企画する各課と連携の上、関係者と協議していききたいと考えている。



ふるさと劔親自然公園から望む早乙女湖



Jアラートと上市町国民保護計画 スクールバス置き去りの安全対策

寺西庄司 議員

有事の避難訓練

議員 弾道ミサイルの飛来を想定した避難訓練の実施予定は。

総務課長 令和4年9月22日に県内で2例目となる国、県及び魚津市による、弾道ミサイルの飛来を想定した住民避難訓練が、魚津駅周辺で実施された。魚津市での訓練の状況をよく調べたうえで、町で避難訓練実施の可否について検討したい。

議員 国民保護に係る警報のサイレン音の吹鳴があった場合、どのような避難行動をすべきか。

総務課長 弾道ミサイルの飛来によつて、Jアラートから国民保護に係る警報のサイレン音等が流れた時には、屋外にいる場合はできる限り頑丈な建物や地

下へ避難、建物が無い場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。屋内にいる場合は窓から離れるか、窓のない部屋へ移動することとされている。

Jアラートの点検

議員 Jアラートの点検スケジュールは。

総務課長 Jアラートの全国一斉伝達試験が毎年、2月・5月・8月・11月の年4回実施されている。

上市町国民保護計画

議員 上市町の国民保護計画の見直しは。

総務課長 令和4年10月に町の国民保護協議会を開催し、Jアラートに対応した体制整備及び住民周知、国のシステムを活用した安否情報の収集及び提供、

避難先での医療活動等に係る他市町村との連携などについて現在の計画に追加記載する検討を行った。

令和4年12月に再度国民保護協議会を開催し意見集約を行った後、令和5年1月からパブリックコメントを募り、今年度中に見直しを終える予定。計画内容は、町民にしっかりと周知していきたい。

スクールバス置き去り事故

議員 スクールバスに取り残される事故への安全対策を徹底して欲しい。

教育委員会事務局長 児童・生徒は、学校から半径2km以上離れた遠隔地から登下校する場合にスクールバスを利用できることとしており、富山地方鉄道に

運行を委託している。また、冬期間、自転車で通学ができない中学生のために臨時スクールバスを町所有のマイクロバスで運行している。

閉じ込め事故防止の対策に関して、業務委託している富山地方鉄道では、運転手の服務心得として終着時の車内点検がマニュアル化されており問題ないも

のと考えているが、あらためて終着後の車内点検の徹底を依頼する。

町所有のマイクロバスを利用する場合は、シルバー人材センターより運転手の派遣を受けているため、置き去り事故が発生しないよう同センターに対し運転終了後の車内点検の徹底を要請していく。



町のマイクロバスをスクールバスに活用

～現状② 校舎の老朽化～

令和5年時点	築年数
相ノ木	44年
上市中央	62年
南加積	42年
宮川	47年
白萩西部	37年
陽南	39年



築年数が60年を超える上市中央小学校。数年後には、複数の小学校が築50年を迎える。

【これまでの議会と町の動き】

	議会の動き	町の動き
令和3年	3/18 学校のあり方検討特別委員会設置 5/25 上市町立小学校視察 6/30 上市町立小学校視察 8/10 学校のあり方検討特別委員会開催 ・町への要望書案検討 9/14 町へ「要望書」提出 10/19 学校のあり方検討特別委員会委員 新メンバーへ	3月 タウンミーティング 7月 保護者アンケート実施
令和4年	1/18 新メンバーを対象に上市町立小学校3校視察 7/26 みさとの丘学園(義務教育学校)視察 8/ 9 学校のあり方検討特別委員会開催 ・みさとの丘学園視察の感想 ・「町の学校のあり方について」 現時点の思い・考え ・町に上記書面提出	「小学校のあり方」 校區別懇談会 (2/27、3/27、4/10、 4/24、5/15、5/19)

【これからの議会】

少子化による小学校の児童数減少に対し、学校の適正規模など学校のあり方について調査検討を行い、広く地域から意見を吸い上げ、議会の中でも議論を深め、提言していきたい。

【特集】

子ども達の学校はこのままで良いのか？ ～課題と議会の動き～

【学校のあり方検討の始まり】

令和2年3月定例会で中川行孝町長より「小学校のあり方を検討すべき時期にきている」と発言があった。小学校を取り巻く課題には、大きく以下の2点がある。

- ①児童数減少による複式学級の発生を解消したい
- ②校舎の老朽化

問題提起を受けた議会では「学校のあり方検討特別委員会」を設置し、視察の実施や校區別懇談会への参加など議論の深化に努めてきた。

～現状① 児童数減少～

	令和4年4月時点 全校児童数(人)	令和10年度の児童数予測(人)						
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
相ノ木	128	16	13	14	16	21	17	97
上市中央	304	23	28	36	31	52	39	209
南加積	102	7	10	13	11	9	14	64
宮川	128	11	13	27	18	20	23	112
白萩西部	44	4	6	6	6	8	7	37
陽南	51	4	2	7	4	5	6	28
合計	757	65	72	103	86	115	106	547

教育委員会の児童数推移予測より抜粋

【小学校の現状】

白萩西部小学校では平成19年度から複式学級が発生し、陽南小学校では令和5年度から発生する見込み。この複式学級を解消するために、町独自で教員を雇用している。

～複式学級とは？～

2つの学年を併せた児童数が15人以下（第1学年を含む場合は8名以下）のとき、2つの学年の児童で学級を編制すること。



【小規模校の授業風景】

視察研修報告

議会広報特別委員会 (9月21日)

東京にて行われた町議会広報研修会に、議会広報特別委員7名が参加。新人の広報担当委員に議会広報のあり方を認識してもらうこと、また広報紙づくりの品質向上を目的とした。

研修会は広報紙づくりに造詣の深い専門家3人による70分の講演会3つで構成されていた。それぞれの講演会を通して、広報紙づくりにおいて、いかにして「伝わる」情報発信を行うかを学ぶ。例えば、これからの情報発信はアナログな広報紙とデジタルなものを双方向に繋げてこそ有用であり、そのためにQRコードを活用する、というのは我々に

もすぐ応用できそうであった。他にも誰が読者なのかをよく考え、記事の3要素「見出し」「リード」「本文」をうまく使い分け工夫することや写真の扱い、記事づくりの心構えなどを、評価の高い広報紙

を実際にいくつか見ながら学ぶことができた。

研修を通して得られた知識は、今後の広報紙づくりにすぐにでも応用できそうなものから、専門家に監修してもらわねば実現が難しいものまであったよう



研修会場シェーンパツハ・サボー

に思う。限られた時間、人材、予算の中で上市町らしい「伝わる」広報紙がつくれるように一層努力して行こうと委員一同、思いを新たにした研修会であった。(松本 寛)

産業振興対策特別委員会 (11月17・18日)

福井県若狭町にある有限会社かみなか農楽舎と、あわら市にある丘陵地農業センターが今回の視察先である。

有限会社かみなか農楽舎は、就農定住支援がメインの法人である。出資割合は町50%集落30%関西の株式会社類設計室20%である。広い敷地に作業所を備えた研修棟があり、研修生はそこで共同生活をしている。「本当に目指すのは地域活性化であり、そのためには農地保全と後継者の育成が重要」という問題意識から設立された。

研修生の受け入れ制度は、2年間の農業研修の他に大学生や社会人(20〜30代)は2週間程度のインターンシップも受け入れている。共同生活は、就農に向けている人材であ

るかを見極めるのに一役かっているように思われた。研修内容も、指導担当が付添いながら機械技術を覚えることができ、春から秋は

水稲、秋から冬は大麥やそば、大豆、キャベツなどの栽培を学ぶ。冬は農業簿記、機械使用に伴う免許の取得、メンテナンスなどの研修がある。

行政と集落の住民が主体となり、農業者の高齢化、後継者不足、遊休農地、過疎化の問題に向き合い設立された、かみなか農楽舎は、大変参考になる施設であった。

あわら市の丘陵地農業センターは、ふくい園芸カレッジ(県が設置した農業教育機関)を中心として、県、農家、土地改良区、JAとの連携がしっかりしており、カレッジでの

1年間の研修後、1年間の農家または農業法人と里親研修が義務付けられているのが特徴的であった。

各市町村が農業の未来を守るためにいろいろな努力をしている。上市町でも町にあったやり方で農業者を一人でも多く育てていけるサポート体制が必要だと思う。10年後に雑草だらけの田畑を誰も見たくはない。(椎名寛子)



視察風景(かみなか農楽舎)



追跡レポート その後実った議会での提案・要望

上市町子育て短期支援事業

令和4年3月定例会一般質問

その後

育児中の保護者や、周囲に頼れる方がいないひとり親家庭などを対象に、「保護者に病気や仕事のもしものことがあっても、安心して一時的に子どもを託せる場所を」と求めたところ、町はただちに富山市の2施設に依頼し、全保護者を対象とした上市町子育て短期支援事業が実現しました。

上市町子育て短期支援事業の利用について

【お問い合わせ】福祉課 児童班 ☎473-9108

保護者が疾病や仕事などの都合により、家庭での児童養育が一時的に困難となった場合に、その児童を児童福祉施設でお預かりします。対象は、原則として小学6年生以下で、本町に住所を有する児童です。利用するには、原則1週間前までに福祉課児童班へ申請する必要があります。

①短期入所生活援助（ショートステイ）事業

実施期間 原則7日間以内

実施施設

◆富山県立乳児院 ☎432-8137

(富山市牛島本町 2-1-38)

◆ルンビニ園 ☎429-0213

(富山市中布目 117)

②夜間養護等（トワイライトステイ）事業

実施期間 原則3か月以内

利用期間

基本利用 18時から22時まで

宿泊利用 基本利用に引き続き 翌朝8時まで

休日利用 9時から18時まで

実施施設 ◆ルンビニ園

※事業内容を上記施設へ直接問い合わせることはできません。詳しくは、福祉課児童班へお問い合わせください。

稗田東バス停設置

令和4年3月定例会一般質問

その後

稗田東バス停が新たに設置されました。

これはさつきの里と稗田町営住宅の方からの要望を受け、双方に出来るだけ近い場所を検討し、現在通っている陽南線の路線上で設置して頂きました。月、水、金曜の運行でデマンド方式のため予約の必要はありませんが、少しでも多くの方に利用して頂ければと考えています。

上市町の町営バス



新たに設置されたバス停

町民の声 紹介



下経田
寺西勝子さん

● **議会に期待することは**
議会の中継をよく見ています。知っている顔が画面に映ると嬉しく感じます。議員の皆さんには、見られていることを意識してハキハキと分かりやすく発言して頂けるとよいと思います。
上市町のためにしっかりと頑張ってくださいね。

若いころに石川県で4年間暮らしたことがありましたが、自然豊かな上市が恋しくなり戻ってきました。剣岳も綺麗だし、山々の秋の紅葉も大好きです。災害が少ないのも良いですね。
主人の運送業を手伝い、二人で全国を回ったことが楽しい思い出です。
田んぼを農協に任せていますが、人手不足で耕作して貰えないのが残念です。町でも何か考えて頂ければありがたいですね。



正 印
細川敏彦さん

● **議会に期待することは**
人口減少対策として企業誘致を積極的に行い、現役世代の人口増加を目指す努力が不可欠だと考えます。そのためこれから出産や子育てをする若い世代にとって魅力的な環境を整える努力をお願いします。
多様な意見を出し合い、活気ある街づくりを目標に、町民の代表としてしっかりと行政に物申し、上市町の明るい未来を構築してください。

北アルプスの俊英、立山連峰の中心剣岳をシンボルとして仰ぐ上市町で、私は47年前に、南町から正印町内に移り住みました。222世帯と農業、商業、工業区域を有し、親しく集う人々とのコミュニケーションも多く、大変素敵な町内です。
上市町も交通インフラが整備され、企業誘致推進が期待されます。水と空気、豊かな自然に恵まれた上市町をどのように生かすのか。
行政と議会が、少子高齢化と多極化の時代を柔軟かつ強固に舵取りをし、上市町の発展を実現して欲しいと切に願っています。

議会傍聴しませんか。

日程は、町広報とホームページで確認願います。

お知らせ

● 会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。(定例会終了後約2カ月後に更新されます。)

● アドレスはこちら

町ホームページ「議会会議録検索」または、
<http://www.town.kamiichi.toyama.dbsr.jp/>

議会広報特別委員会

委員長	松本 寛
副委員長	酒井 一好
委員	百塚 怜
	廣田 透
	椎名 寛子
	當波 紀子
	廣田 泰二
	堀田喜久男

編集後記

明けましておめでとうございます。
今回の議会広報は、町の大きな課題である将来の学校のあり方を考えていくため特集記事を設けました。
広報編集は正確な記事をお届けできるよう校正が大切で委員一同頑張っております。
思えば昨年はいろいろありました。「おおかみこどもの雨と雪」公開10周年記念イベント、ロキテクノ富山が都市対抗野球大会に初出場、第1回上市マラニックの開催、釈泉寺円筒分水槽が登録有形文化財になるなど盛りだくさんでした。さて、今年も新町制70周年。議会としても盛り上げて参ります。
令和5年が町民の皆様にとって素晴らしい一年でありますように。

(椎名 寛子)

連絡先 上市町議会

〒930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺1 ☎076-472-2550 FAX076-472-1115 ホームページ<http://www.town.kamiichi.toyama.jp/>